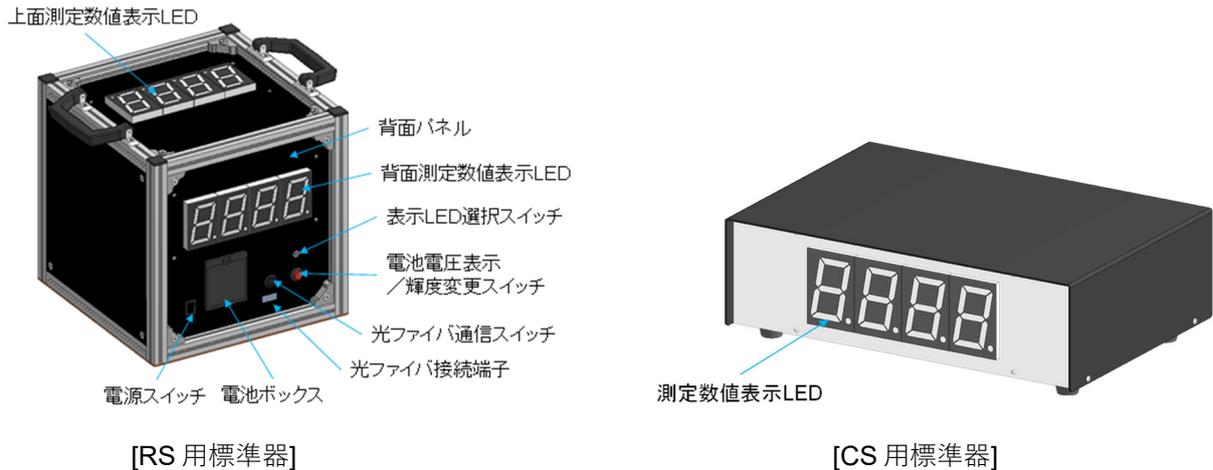


技能試験内容詳細説明

放射電磁界イミュニティ（RS）、無線周波伝導妨害波イミュニティ（CS）の技能試験内容につき以下の通りご説明させていただきますので内容をご確認頂き技能試験への参加をご検討願います。

各技能試験には、被試験品（EUT）を模擬した以下の標準器を使用しております。



標準器内部には各試験の要求周波数範囲に対応した検波回路を有しており、放射電磁界強度/伝導電圧を測定する事が可能となっております。

技能試験用機材は、筐体内に意図的に導電性材料等を使用し、一定の容積を確保することで被試験品（EUT）を模擬する様工夫されています。

RS 試験の標準器におきましては、この構造により、電界プローブを使用した電界均一性内の一点の電界強度レベルを測定するものではなく、かつ、標準器が表示する数値は EUT が電界均一面内に置かれた時に内部でどの程度の電磁波を感受するかを数値化して表示しております。

CS 試験の標準器におきましても AC Main 入力を有しており、この AC Main 入力に印可された伝導妨害派波を内部でどの程度感受するかを数値化して表示しております。

イミュニティ試験における試験結果の評価としては、被試験品（EUT）の機能損失又は性能低下を確認する事を要求されておりますので、標準器が表示する特定のレベルが被試験品（EUT）の誤作動するレベル（技能試験の基準値）と設定して技能試験の参加試験所様での表示値がこのレベル（基準値）を超えれば“Fail”、越えなければ“Pass”とする判定を行う方法もございますが、これだけでは参加した試験所様が自社のパフォーマンスが、どのレベルなのかを判断する事が難しいため、本技能試験では EUT の感受レベルとして標準器の表示値を比較する方法としております。

試験手法の技術的観点から、技能試験品目としては“電界強度測定/妨害電圧測定の技能試験”となっておりますが、単に電界強度/妨害波電圧を測定しているだけではございませんので、試験内容につきご理解頂きます様お願い致します。